

<b>特講・社会福祉学 1</b> (介護保険と社会福祉士の課題)			科目コード	DT2201
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
1	S(講義)	1年以上	佐々木 裕彦	

※この科目は隔年開講予定です。2024年度の開講後は2026年度開講予定です。

※受講希望者はスクーリング申込締切日までに履修登録とスクーリングの申込みが必要です。

## 科目の概要

### ■科目の内容

介護保険自体の講義ではありません。皆さんの、これまでの、そしてこれからの学びが「実践現場でどのように活用されるか」と「介護保険が向かう近未来に必要な方法論」を学ぶ講義です。自ら経験した40年間の「ソーシャルワーク実践」について、施設福祉、在宅福祉、地域福祉の流れの中で、出会わざるを得なかった事件と、学ばざるを得なかった理論と、作り上げてきた仕組みをご紹介します。

前半は、「ソーシャルワークの特性分類」について、自らの成長課題であった初期の「援助関係展開技術」、中期の「問題解決対応技術」、後期の「経営管理推進技術」に沿って、専門性の構造である価値観（福祉哲学）と知識（理論アプローチ）と技術（システムアプローチ）の順に関連づけて実践例をご紹介します。

後半は、「地域包括ケアシステム」について、介護保険を牽引車にして、全世代・全対象型の地域共生社会実現への統合を目指し、これまで示された関連ビジョンを概観し未来予測をします。その上で、社会福祉士や社会福祉事業所などの、現状と将来に求められる専門的・技術的な実践対応の私案を提示します。

### ■到達目標

- 1) ソーシャルワークの特性分類が説明できる。
- 2) ソーシャルワークの理論アプローチが説明できる。
- 3) 地域包括ケアシステムがめざす将来像が説明できる。
- 4) 社会福祉士への役割期待とその課題への対応例が説明できる。

### ■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「専門的知識」「他者への関心と理解」「社会への関心と理解」「問題解決力」を身につけてほしい。

### ■教科書・参考図書

#### 【教科書】

スクーリングにあたって、教科書は使用しません。

## 【参考図書】

- 1) 前半の授業：これまで受講した各先生の講義復習（専門性：価値観・知識・技術）
  - 2) 後半の授業：厚生労働省等ホームページ（近未来に求められる新たな技術改革）
- 2013年：21世紀（2025）日本モデル（コミュニティ再生）、2015年：2035年の医療保健システム、2015年：新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン（全世代・全対象型地域包括支援体制・高齢者対象の地域包括ケアを深化させ地域包含体制構築）、2016年：ニッポン一億総活躍プラン（地域共生社会の実現）、2016年：「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部（地域共生社会の実現）、2017年：ますます求められるソーシャルワーク機能、2017年：2040年に向けた挑戦（地域包括ケア）、2018年：2040年の自治体戦略、2018年：社会的につながりが弱い人への支援、2019年：地域共生社会推進検討委員会（最終とりまとめ）、2020年：社会福祉士の倫理綱領（2021年：社会福祉士の行動規範）、2020年：地域共生社会実現の法律案（自治体の包括的支援）、2021年：社会福祉士養成課程の教育内容等の見直し、等

## ■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	ソーシャルワークの共通基盤①	総論：専門性（価値観・知識・技術）の実践例
2	ソーシャルワークの特性分類②	各論：援助関係展開技術の専門性と実践例
3	ソーシャルワークの特性分類③	各論：問題解決対応技術の専門性と実践例
4	ソーシャルワークの特性分類④	各論：経営管理推進技術の専門性と実践例
5	新たな地域福祉時代の構築①	総論：地域包括ケアシステムと現状の課題
6	新たな地域福祉時代の構築②	各論：地域共生社会と関連するビジョンの課題
7	新たな地域福祉時代の構築③	各論：地域共生社会と関連する技術的な課題
8	新たな地域福祉時代の構築④	各論：社会福祉士への役割期待と課題への対応私案
9	スクーリング試験	

## ■講義の進め方

パワーポイント資料を使用します。

## ■スクーリング 評価基準

授業への参加状況50%＋スクーリング試験50%（持込可）。スクーリング試験はレポート課題とし、とくに授業で「気づいたこと」や「考えたこと」を問います。

## ■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

介護保険自体の講義ではありません。皆さんの、これまでの、そしてこれからの学びが「実践現場でどのように活用されるか」と「介護保険が向かう近未来に必要な方法論」を学ぶ講義です。皆さんがこれまで受講した各先生の資料や、厚生労働省などの将来ビジョンの資料に目を通してくと講義の理解が深まります。

## ■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25時間）

「到達目標」に記載されている内容の理解を深め、新たな地域福祉時代の構築に向けて、実践現場で

発揮しなければならない専門的力量を確認し、高めていってください。

## ■担当教員紹介

---

佐々木裕彦 社会福祉法人岩手和敬会参与・岩手県社会福祉士会相談役  
岩手県介護支援専門員協会顧問・岩手県立大学大学院非常勤講師